

社会福祉法人 慈愛園

慈愛園子供ホーム 園長 緒方 健一

1. 全般的な施設運営について

平成 27 年度は、法人の理念、当園の養護理念、基本方針を明確にし、組織基盤の充実と、課題となっている小規模化とケアの標準化を目指すことを目標にしてきた。職員の確保については、年度途中で 1 名が退職するも、基準を満たした状況で支援は展開された

中長期計画に基づき、ここ 3 年間で本体内の小規模グループケア 2 棟を整備、8 月に 28 年度の地域小規模児童養護施設の開設にむけての物件を確保。併せて SBI ことも未来財団に補助金の申請、10 月には地域住民への説明会の実施。1 月からハード面の整備を開始、SBI 財団からの補助金が認可、熊本市の認定を受け次年度から開始の運びになった。「アンディホーム」と命名した。

施設運営では、情報伝達が滞ったり、支援についても振り返りが弱く、あらためて PDCA サイクルを確立することが確認された。業務の標準化とマニュアル整備についても、次年度も継続して取り組む状況である。

また、当園では 26 年度から里親支援専門相談員を設置。順次県下施設での配置が進み、行政と連携をとりながら里親支援業務の充実が図られた。

2. 中長期計画について

地域小規模児童養護施設開設にあわせ、次年度の定員を削減する計画（本体 69、地域 6）。また、エスターホームを分割し、女子を小規模グループケア（ネルセンホーム）に移動する。エカードホームを男子ホームにする。また、新たな動きに合わせて大幅な職員増が実現することになり、人材については確保できた。

3 支援状況について

- (1) ケアワーク職員、各専門職員連携のもと、児童とホーム職員との人間関係の強化を目指し、個別対応に重点を置き、県及び市の児童相談所とも連携をはかり、親子関係の強化、改善を図り、4 名の児童を家庭復帰につなげることができた。また、里親支援専門相談員が配置され、一方、26 年度は 3 名の高校中退があった。様々な課題を残しつつも、いずれも県外に就職させた。アフターケアで就労支援を継続している出身者が 1 名おり、対応に苦慮している。高校卒業後 5 名の進路が確定した。アフターケアで引き続き支援を継続していく。
- (2) 今後の当園の中長期計画を具体化すると同時に勤務内容の改善を進めてきた。職員配置基準が改定され、ホーム支援の充実が図られることになった。
- (3) 職員、児童の夜間の安全確保、また児童の通信手段としてのホーム携帯を活用、情報の共有化を図り、携帯使用についての児童の訓練としても活用が出来た。

- (4) 地域の各種団体と連携し、地域福祉向上と地域と園との有機的な交流のための具体的な行事を計画し、地域福祉に寄与した。(校区独居老人昼食会、校区おせち宅配、シルバー独身者ひなまつり会等)、さらに校区の地域福祉ネットワーク「ほっとネット砂取」への参画を行った。
- (5) 児童と職員との交流や社会性の涵養のために、月ごとに様々な行事等を取り入れ、児童と職員との信頼関係を強化した。併せて長期休暇等に家庭生活体験事業を行い、家庭生活の経験の少ない児童に対して、里親さん宅、職員宅への外泊体験を実施。
*利用児童 (のべ26名 30泊 里親のべ13家庭 ボランティア8家庭)
- (6) 家庭復帰支援と保護者との関係強化のため、児童相談所の意見も聞きつつ、家庭と園で協力、情報共有と支援に力を入れ、面会、外出、外泊の向上をはかった。(別紙報告書)
- (7) ボランティアとの連携を密にして、ボランティアの確保を図り、入所児童の成長と人間関係の拡大を図るとともに、児童の社会性の向上を図った。
- (8) 小学4年生以上の児童に対して、冬休みに外部教育専門家による性教育を実施し、正しい性教育に力を入れた。また、高校を卒業して自立する児童に対してのリーディングケアを実施し、その一部に性教育を加え、社会的なスキルを高めていくための支援を行った。
- (9) 中学3年生に対して、希望する児童に、学力向上と高校入試対策のため、学習塾を利用させて、公立高校に1名、私立高校に3名、合格することができた。また、中2以下についても学習塾を積極的に活用している。
また、NPO 学習支援ネットワークのボランティアによる学習会が週1回、小中学生向けに開催されている。
- (10) 県内外から、今年も多くの方々が、見学・研修・実習に来園。社会的養護への認知を高めると共に、福祉教育や後継者育成について貢献することができた。
- (11) 5年間にわたり、職員・児童に「CAPワークショップ」を実施してきたが、27年度については子どもを支援する職員のエンパワメントを行い、権利意識の向上と暴力防止、予防を目指した。
- (12) 児童の健全育成と社会性の涵養のため、小学4年生以上には入部を奨励してきた(希望者)。部活希望者の大部分が希望する部活で年度末まで元気に取り組むことができた。(入部者は合計22名)
- (13) 苦情第三者委員及びサービス向上委員として3名の外部委員を定め、年4回の会議を持つと同時に、園内環境、ホーム支援への意見具申をお願いした。
苦情受付件数 10件 対応済
- (14) 子育て短期支援事業等
*ショートステイ(110名)
*トワイライト(9名、) 9日:夜間0名0回、休日9名9日)
- (15) 就職自立のために
就職自立の児童5名が自動車学校に通い、無事に普通自動車免許を取得することができた(うち2名はアルバイトの収入)。また、アフターケアを充実させ、卒園者の訪問や電話連絡など卒園者の情報把握に勤めると同時に、心理的支援に心がけてきた。

月	教 育	施 設	地 域 活 動	職 員 研 修 ・ 交 流
4	学 校 ・ 幼 稚 園 の 行 事 に 順 応 す る	1: 辞令交付式 4: 進級式・バーベキュー 30: 中学校連絡会(家庭訪問) 29~5/5: ワンバク絵画展		22: 法人新任研修 16: 事務担当者会総会 27: 心理部会総会・研修会
5		1: 小学校連絡会 (家庭訪問) 2: ダルマの杯スポーツ大会 7: 実習オリエンテーション 29: 神水幼稚園交流会	16: 子ども会お見知り会 地域各種団体総会	8: CW部会総会 13: 給食担当者会総会・研修会 22: 相談援助部会総会 23: 行政・施設親善バレーボール大会 26~28: 施設合同キャンプ現任訓練
6			7: 町内一斉清掃 12: ほっとネット砂取	9~11: 九州ブロック研修会 24~25: CSP幼児版初級指導者養成講座 25: 事務担当者会研修会 29~30: キリスト教児童福祉連盟研修会
7		1: 慈愛園総合防災訓練 4: 七夕まつり 9: 合同キャンプ事前作業 20: 球技大会 27・30: 施設合同キャンプ		
8		7: 東南RCとの交流会 19~21: 球技大会九州大会 23~28: イングリッシュキャンプ 29: おやつパーティ	1: 神水盆踊り 24~25: スカウト隊キャンプ	3~4: 全国性教育研究熊本大会
9		23: 遊友小子老デー (運動会) 26: 福岡県招待野球大会	11: ほっとネット砂取	8: 心理部会公開研修会 16~18: 西日本セミナー研修
10		10: 秋季スポーツ大会	18: 校区総合防災訓練 21: ふれあい昼食会	7~8: 全養協施設長研修会 15~16: 給食担当者会宿泊研修 24: 職員親善ソフトボール大会 26: CW部会研修会 27~28: 初級現任訓練
11		1: 熊本西RC駅伝大会 26: 指導監査	23: 江津湖あるいとランド (青少協)	6~7: 書記会秋季研修会 7~9: SBI研修 11~12: 事務担当者会研修会 17~18: 相談援助部会全体研修 25: 心理部会研修会
12		12: きっざクリスマス 23: クリスマス祝会 26: 大掃除 28: もちつき	5: 子ども会クリスマス 11: ほっとネット砂取 25: スカウトクリスマス 31: シルバーおせち宅配	12: 養協性教育研修会 19~20: 実習指導者講習会
1		1: 正月祝膳 2~3: 市内外出買物 6: 性教育 13: 実習オリエンテーション	10: 消防出初式	19~21: キリスト教児童福祉連盟中堅研修
2		3: 節分 11: 表現祭 13: モード・パウラス先生愛献の集い 7: 法律講習会(県養協・司法書士会) 21: 高3壮行試合 28: 卒園式	6: 子ども会お別れ会 29: シルバーひなまつり	13: 職員親善ボーリング大会 8~9: FSW研修会 16: 相談援助部会総会 18: 書記会研修会 19: 給食担当者研修会 23: 養協講演会 24: 心理部会総会・研修会 26: CW部会研修会
3		26: 大掃除	11: ほっとネット砂取	3・10: 基幹的職員養成研修